

1 開催日 平成 26 年 8 月 5 日 (火)

2 委員長開会宣言

3 議事

日程第 1 会議録署名委員の指名について

日程第 2 市教委第 41 号 平成 27 年度使用高知地区小学校教科用図書（学校教育法附則第 9 条の規定による一般図書を除く）の採択について（継続審議）

4 出席者

(1) 委員	1 番委員長	谷 智 子
	2 番委員	山 本 和 正
	3 番委員	西 森 やよい
	4 番委員	野 並 誠 二
	5 番教育長	松 原 和 廣
(2) 事務局	教育次長	土 居 英 一
	教育次長	森 田 洋 介
	教育政策課長	高 岡 幸 史
	学校教育課長	野 村 能 教
	教育政策課長補佐	宮 田 小 町
	学校教育課指導主事	入 江 洋
	教育政策課総務担当係長	吉 本 忠 邦
	教育政策課主任	横 田 由 紀 子

1 平成 26 年 8 月 5 日（火） 午後 3 時 05 分～午後 5 時 50 分 （たかじょう庁舎 5 階北会議室）

2 議事内容

開会 午後 3 時 05 分

谷委員長

ただいまから、第 1134 回高知市教育委員会 8 月臨時会を開会いたします。

はじめに、会議録署名委員の指名を行います。会議録署名委員は、野並委員、お願いいたします。

野並委員

承知しました。

谷委員長

それでは、議案審査に移ります。本日の議案は 1 件です。日程第 2 市教委第 41 号「平成 27 年度使用高知地区小学校教科用図書（学校教育法附則第 9 条の規定による一般図書を除く）の採択について」の継続審査に入りたいと思います。なお、採決については、種目ごとに順次審議し、決定していくこととしたいと思いますがよろしいでしょうか。

委員一同

————— 【は い】 —————

谷委員長

それでは、まず国語について説明をお願いします。

入江学校教育課指導主事

学校教育課の入江でございます。これから教科書について、種目ごとに説明させていただきます。それぞれの教科書には各社に共通する単元や教材を比較するため、青、オレンジ、緑といった付箋を貼っております。例えば各社の青色の付箋のついたページを比較しますと、その違いがよくわかるようにしております。そういった箇所を各種目とも青、オレンジ、緑の 3 箇所で見せております。また、その教科書の特徴となるページには赤色の付箋をつけております。

それでは、国語からご説明いたします。国語は、5 社のうち、東京書籍、教育出版、光村図書出版の 3 社が選定されております。青色の付箋がついたページをお開きください。3 社とも「もくじ」についてでございます。3 社とも 1 年間の学習を見渡すことができるようにまとめられています。加えてよく見ていただきますと、読む、話す・聞く、書くといった「各領域とのつながり」を明記しています。光村図書出版をご覧くださいと、その領域で学習する内容を次のページでまとめています。また、東京書籍の 6 ページ以降をご覧くださいと、国語学習の進め方の説明に加え、見開きの 8、9 ページでは、「言葉の力」の要点を示しています。児童が「言葉の力」の習得を意識して、主体的に学習に取り組めるよう工夫がなされています。

続きまして、緑色の付箋のページをお開きください。5 年生です。「物語文：大造じいさんとガン」についてでございます。まず、教育出版と光村図書出版を先にお開きください。付箋のあるページですけれども、一般的な挿絵があるかと思えます。こちらは主人公の表情から心情を想像しやすいものとなっています。一方、東京書籍をご覧くださいと主人公の様子は分かっても、表情までは分からず、文章から創造力を広げながら、読解学習を進めるような挿絵となっています。以上が、国語についての説明でございます。

谷委員長

この件について、ご意見等をお願いいたします。

山本委員

東京書籍の方に、「国語のノートの作り方」と詳しく書いているんですけども、こういった記載は他の出版社にもあるんですか。

入江学校教育課指導主事

学校教育課の入江でございます。ノートの作り方だけに特化したものは他の出版社にはなく、それとはまた別に置きかわる、例えば教育出版でございますと「メモを取ることにについて」といった形で、それぞれ特徴を活かした形でのまとめ方をしています。

山本委員

高知の子どもたちにとったら、先程説明していただいた中で、どれが一番実情にあっているのでしょうか。

入江学校教育課指導主事

学力の基盤として考えますと、ノート作りというのは、やはり様々な学習を進める上で、特に高知市の子どもたちに必要な力ではないかと、活用力を高める上で基本はノート作りからと考えています。

山本委員

ありがとうございます。

松原教育長

挿絵とか写真等のことですが、例えば教育出版とか光村図書出版が、先程の話の中で、一般的な挿絵という話があったと思うのですが、それに対して東京書籍は児童の創造力を広げながら読解学習ができるということで、ページを見ると人間の後姿から書いているということから創造力を広げることになっていくのだろうと思うけれども、それはすべての東京書籍の物語文の中にそういったものが一貫してあるのか、あるいはその教材だけにそういう形になっているのか、そのあたりはどうですか。

入江学校教育課指導主事

学校教育課の入江でございます。もちろん学年に応じて発達段階に応じてはありますけども、東京書籍は全学年を通して、どちらかと言えば、挿絵には工夫がなされていて、できる限り文章から読み取れる力を養うような形で工夫がされているかと思います。

松原教育長

その3つの教科書の特徴として、先程先生が指摘した内容としては、例えば教育出版としては、メモを取ることにについて継続的な取組を提示していると、そしてまた光村図書出版の方は、書くことについて、伝えるということをテーマとして各学年の発達段階に応じた内容構成となっているということに対して、東京書籍はノートの作り方を重視していると、そのことが学力の基礎基盤として非常に大事であるというふうなことを言われましたよね。今の高知の子どもたちの実態から言えば、私も学力の基盤としてノート作りというのは非常に大事な側面だろうと思われるんですけども、こういったノート作りがすべての学年を通して、東京書籍の中では大事にされているという理解でいいでしょうか。

入江学校教育課指導主事

委員さんのおっしゃるとおりでございます。

谷委員長

2年生の上の国語の東京書籍を見ていましたら、22 ページに国語のノートの作り方というのが出ていますけれど、例えば小学生の学習の45分間の授業の中で、まずやはり何をこの時間に学習するのかという今日の目当てをはっきり子どもが自覚して、そしてその学習があり、最後には今日はこんなことを勉強したんだというまとめがあって、その1時間の授業によって自分が学んだことがきちんと意識されるということが非常に重要だと思うので、特にやはり高知の子どもたちは、記述ということがあまり得意ではないという面があるんですよね。だからこそ、やはり書くことによって自分自身の学びを自覚するという辺りがとても大事な事だと思います。また、このノートが2ページに渡って

非常に分かりやすい表記がされていますよね。それが子どもたちにとってもすごくわかるので、これを基にノートを作っていくという事という意味でも非常にいいと思います。

他に皆さんないですか。

西森委員

特徴の1つとしてオレンジの付箋を立てていただいたところですが、所謂まとめのページということになるとと思いますが、まとめのページは授業では一般にどういう使い方をされるのでしょうか。

入江学校教育課指導主事

尋ね保育課の入江でございます。授業でももちろんまとめとしての振り返りで見たりするというのもあると思いますが、主に児童自身が振り返り学習をする際に、使うことが多いかと思います。

西森委員

授業の中で先生がここを見たらこの本で学んだ順番にやってきたことのまとめはこうなると示す場面があって、自分でもだいたい1年間こんなことを学んだと目次と対応して把握するページということですね。3社ともそれぞれ工夫がなされていると思うんですが、例えば、順番に言うとか教育出版だったら、太字細字を使い分けて一覧化されているという意味では非常にすっきりとした表のような整理になっていますよね。光村図書出版だと2ページで見開きでまとめているということ言えば把握しやすく作っていて、東京書籍は一覧化という意味ではちょっと劣るんですけど、6ページぐらいに渡っているので読むことを意識した作り方をしていますよね。教育出版だと表になっている感じがするんです。光村図書出版は表と文書の中間で、東京書籍はこの部分はもう一度読むというようなイメージになっているという感じがするんですけども、子どもたちもだいたいそういうような見方にとらえられますかね。

入江学校教育課指導主事

中に簡単な具体例を示していると、子どもたちが具体例を見るとあの時こんな学習をしたとわかるような構成となっているかと思います。

西森委員

ということは、子どもさんたちが自宅であってもまとめの時間をとるのであれば、恐らく東京書籍が使いやすいんでしょうね。

入江学校教育課指導主事

おっしゃるとおりでございます。

西森委員

ありがとうございます。

松原教育長

やはり自学自習というのは、高知の子どもたちにとってすごく大事な問題ではないかと思います。家に帰って授業を思い出しながらまとめてみるというふうなことは、大事な問題ではないかという感じもするし、そういった点でそれに力を入れている東京書籍は、一定評価できるのではと思います。

谷委員長

国語については、東京書籍の評価が高いようですが、国語については東京書籍ということにしていますでしょうか。

委員一同

————— 【は い】 —————

谷委員長

国語については東京書籍で決定をいたします。

では、続きまして書写に移りたいと思います。事務局の説明をお願いします。

入江学校教育課指導主事

学校教育課の入江でございます。続いて、書写についてご説明いたします。

書写は、6社のうち、東京書籍、光村図書出版、日本文教出版の3社が選定されております。

青色の付箋がついたページをお開きください。3社とも「字を書く姿勢、鉛筆の持ち方」についてでございます。3社を見比べていただきますと字を書く姿勢や執筆法について、イラストや写真を用いて、楽しく分かりやすく提示されております。中でも、東京書籍をご覧いただきますと、特に、鉛筆の持ち方について、原寸大の写真で提示する工夫がなされていて、左の方を見ていただきますとこのページは、できたら「シールを貼る」といった自己評価ができる工夫等がなされています。そのシールにつきましても巻末についています。

続きまして、緑色の付箋のページをお開きください。6年生、5年生の書写になっております。「目的に合った筆記具の選択」についてでございます。光村図書出版と日本文教出版をご覧ください。この2社は、目的に合った筆記具を考える構成となっています。そして、東京書籍をご覧いただきますと、まずは様々な筆記具とその使い方について、具体的な活用例を用いて、分かりやすく学ぶことができます。そして、その学んだことを基に、目的に合った筆記具を考える構成となっています。以上が、書写についての説明でございます。

谷委員長

この件について、ご意見等をお願いします。

西森委員

赤い付箋ですけれども、3社の分を並べて見ているんですが、東京書籍と光村図書出版の分は、これは習ったことを確認するようなページですか。東京書籍は8ページで「調べよう、確かめよう、広げよう」と3段階で図解されていて、光村図書出版も「点や画の書き方のまとめ」というタイトルになっていますよね。日本文教出版の付箋が立っているところは「漢字の一覧表」みたいですが、日本文教出版に対応するページとしては、こういうページしかないということですか。

入江学校教育課指導主事

学校教育課の入江でございます。赤い付箋につきましては、対応という捉えよりも、各種目によって特徴のあるページに付けさせていただいております。東京書籍ならではの特徴ということで赤い付箋のページをご覧いただけたらと思います。

西森委員

今、一般的に、書写の授業は、小学校だから担任の先生が全部教えているのですか。

入江学校教育課指導主事

おっしゃるとおりでございます。

西森委員

やはり、学校では非常に書道に秀でた方とそれほどでもないという方がいると思うんですが、特に秀でた方が他のクラスを教えたりすることがあるのですか。

入江学校教育課指導主事

学校教育課の入江でございます。委員さんのおっしゃるとおりでございます。

西森委員

そういう事もあるんですね。もう1回赤い付箋の話ですけど、東京書籍の9ページのところの「トン、スー、ピタ」というやつですが、筆使いというのは、やったことのある子は「トン、スー、ピタ」がわかっているけど、筆の使い方がわからない初めて習う子にとっては、このような記述があると自習しやすいと思います。習っていないお子さんが前提で、このページを見たら家で書けるのではと思えるようなところは、他の教科書にもそれなりにはあるんですか。

入江学校教育課指導主事

あるかと思うんですが、特に委員さんのおっしゃるように、東京書籍ですと「調べよう、確かめよう、広げよう」とあって、「確かめよう」というところでは、主に自分で考えながら思考力、判断力を養うような仕掛けがされていたり、また「広げよう」というところでは、習ったことを活用しようという、その活用力を養うように東京書籍では工夫がされているかと思います。

西森委員

光村図書出版は、全体として絵本としては可愛いらしいんですけども、文字への取組というか、執着というか、そういう意味ではすごく書道的ではないような感じがするんですけども、そうでもないですかね。筆にこだわってない感じですよ。と思ったんですが、どうでしょうか。

入江学校教育課指導主事

恐らく子どもが親しみやすいようなイラストと言いますか、全体的な紙面構成にはなっているかと思いますが、確かに見方として書道としては、他社とは若干色が違うようにも見えるかと思います。

西森委員

ありがとうございます。

谷委員長

墨の色が、薄い灰色みたいなのが多いじゃないですか。だから、インパクトがないというかはっきりとしにくいような面はありますよね。やはり3年生だとこれぐらい大きく示さないと、初めてのことでですから分かりにくいという面はありますよね。ただ、こういう書初めの見本が、東京書籍だとこんなにあるじゃないですか。書初めのイメージということであるんですけど、光村図書出版はもう少し短い、日本文教出版も東京書籍と同じようにあるんですよ。どこも大きく表示してあるんだと思いました。

また「トン、スー」というのはすごく分かりやすいと思います。

松原教育長

小学校の先生で、この教科書を使って書写を教える時にどれが教えやすいか。実際に教える側に立って、ここはいいのではという意見はあるのではないのでしょうか。

土居教育次長

やはり例えば、穂先と通った道をきちっと示すといったところは、指導する時には意識するところだと思います。そういう表記が原寸で明確にある方が、子どもたちにとって分かりやすいかとは思いますが。

谷委員長

これは、日本文教出版にも11、12ページにもあるんですよ。ここにも「トン、スー、ピタ」とあります。ですが、全体を比較した時に、東京書籍が子どもに分かりやすいというか指導が定着しやすいようになっていると思います。

西森委員

非常に筆の描写がリアルですよ。委員長のお示しくださった教科書の22ページを見ても原寸大を超えた筆の迫力のある絵というか、例えば日本文教出版のようにページの一部に筆が走ったものが載っていますというのもあるんですけど、東京書籍は非常に筆にこだわっているという気がして、強く印象に残ります。筆をものすごく大事にしている感じを受けます。

谷委員長

光村図書出版にはこういう横書きのものはあるんですか。ないような感じがするんですが。

山本委員

委員長、子どもたちは実物大のものが見やすいんですか。

谷委員長

やはり、筆の書き方の見極めが良く分かりますよね。

西森委員

光村図書出版の4年生の20ページに筆の描写を発見したんですが、横結び、縦結びとかいう難しいところはビジュアル化してるようですが、やはり東京書籍の方が、迫力があります。また「トン、スー、ピタ」は、光村図書出版にはないようです。

谷委員長

光村図書出版のシールは意味があるのでしょうか。シールを選んで16ページに貼るということで、

組み立てを考えるとつながりでしょうか。すごい意図があってやっているのではと思うんですけども、初めてみました。

山本委員

写真とか挿絵とか図表をそれぞれ3社とも使っているんですけども、この入れ具合はどうなんでしょうか。あまり多すぎてもどうなのかという部分と、子どもたちにとって見やすい部分からいけばどうなんでしょうか。

入江学校教育課指導主事

見やすいという視点から言いますと、ある程度の余白があった方がいいのではと思います。子どもたちにとって情報過多についてもいかがなものかと思ひまして、どこもそれなりに紙面上の構成はされているかとは思いますが、東京書籍は余白のバランスが取れているのではと感じます。

西森委員

東京書籍の1年生の末尾に書写体操と載っていますが、これはスタンダードなのかそれともオリジナルなのでしょうか。

入江学校教育課指導主事

スタンダードではないと思います。基本の姿勢で「チョコ、ピタ、ピン」という言葉はありますけども、それが少し入っているような形ですが、書写では基本の姿勢が大事ということで、ここで示しているのかと思います。

西森委員

わかりました。

入江学校教育課指導主事

こういった事を1つ覚えておくと他の教科にも使えるということがあるかと思ひます。

松原教育長

例えば、1年生の書写を見たときに東京書籍は、書写の中でも特に書道的な書き方というか、大きさといひすべてがすごくインパクトのある字になっていますよね。印象として小学生の低学年も含めて、そういった字の伝える印象はすごく大事だと思ひます。そういった点で東京書籍はどうかという意見です。

谷委員長

東京書籍が良いという評価が高いですが、東京書籍で書写についてはよろしいでしょうか。

委員一同

————— 【は い】 —————

谷委員長

それでは、書写については東京書籍と決定いたしました。

それでは、次に社会について、事務局の説明をお願いします。

入江学校教育課指導主事

学校教育課入江でございます。続いて社会でございます。社会は4社のうち、東京書籍、教育出版、日本文教出版の3社が選定されております。

では、青色の付箋がついたページをお開きください。3・4年の上になるかと思ひます。「学校の周り、町たんけん」についてでございます。

まずは日本文教出版8ページをご覧ください。まず一般的な記述で、単元全体で、学習の流れをまとめております。次に東京書籍をご覧ください。学習問題をつかみ、その問題解決のための計画、調べ方、まとめ方を下の一覧で示すなど、児童の学習を助ける工夫が見開きで示されています。そして教育出版をご覧くださいますと、まず学習問題をつかむ・調べる・まとめる・深めるといったすべての活動の流れが、見開きで大変分かりやすくまとめられています。こちらは、3年生で初めて社会科の学習に取り組む児童にとって、今後の学習においても、主体的に見通しをもって取り組めるような構成となっています。

続きまして、緑色の付箋のページをお開きください。6年上になるかと思います。まず東京書籍と日本文教出版をお開きください。児童の思考を促すように資料が精選されており、本文が効果的に配置されています。そして、教育出版をご覧いただきますと、中心資料、この場合空襲となるかと思いますが、そういった写真や図表について、できるだけ大きく取り扱い、児童の意欲や興味を高めるような工夫がなされています。そして、児童の思考を促す右下の資料やコーナー等が、効果的にバランス良く配置されています。以上が、社会についての説明でございます。

谷委員長

それでは、ご意見等お願いします。

西森委員

今ご説明があったページについて教科書採択とは直接には関係ない話をちょっと聞かせていただきたいんですけど、東京書籍のは、空襲というものの恐ろしさというか戦争の民間人に対する悲惨さというか、そういうものが子どもたちはかなり実感をもって伝えられる内容になっているだろうと思うんですね。他の教科書はそこまではなく、上空から見たり、後から見たりという視点になっているんですけども、高知の子どもたちが戦争というのは何十年か前に実際に起きたことで、絶対にこんなことにはなりたくないと思う機会というのは、授業の中でありますか。

入江学校教育課指導主事

学校教育課入江でございます。主に6年生で歴史の勉強はするんですけども、全体として平和の学習としては8月の登校日あたりに、全校で中には語り部さんと呼んで平和学習をしたり、学校で全校で集まって平和に向けての話を聞いたり、ビデオをみたりといった形で取組はされております。

西森委員

わかりました。

野並委員

私の世代というのは、昭和40年前後に小学校高学年だったんですが、記憶では歴史の授業で昭和までに至らなかったんですが、今は昭和も歴史の授業として取り入れられているんですか。

入江学校教育課指導主事

おっしゃるとおりでございます。

松原教育長

例えば、子どもの立場で青の付箋を比較した時に、教育出版の方が、つかむ・調べる・まとめる・深めるというふうなことで、自学自習をやろうとした時に、順序性みたいなものが教科書の中で指示されているということで、3つを比べた時にいいのではないかという感じはしました。

谷委員長

社会科はやはり、探求していくというか、そういうことが大事なので、特にこれだったら3、4年生ですから、1年で生活科、3年で初めて社会科となりますから、調べる、それから問題意識を持ってつかむ、そしていろいろな探求学習をしてまとめる、また広げるというふうな学習をすることが非常に重要で、そういう学習の繰り返しが子どもたちに、自ら学ぶとかの意欲を高めていくということで、それを分かりやすく説明していないと、説明的な社会科の学習で終わってしまうということもあるので、教育出版の10、11ページの表記は非常に効果的だと思います。

西森委員

東京書籍が、漫画のキャラクターを使った表現の仕方をしてしていますよね。これは授業で効果的なんではないでしょうか。例えば5年生くらいになってもキャラクターに依存する表現が果たして必要なのかと思うったりとか、先程の情報量の問題もありましたけども、場合によっては集中すべきところが分散するのではないかと思います。そういったところは、現場の感じではいかがですか。

入江学校教育課指導主事

学校教育課入江でございます。委員さんのおっしゃるように発達段階において、キャラクターにいくつお子さんもいるかとは思いますが、例えば高学年になりますとキャラクターへの反応は

薄いように感じられます。また、おっしゃるように集中を阻害するような可能性があることを授業で感じたことはあります。

西森委員

ありがとうございます。これもお伺いしたいんですけども、今、社会の授業で教科書はどのような使われ方をするのでしょうか。例えば、みんなで一回読み合わせをしたりとかしますか。

入江学校教育課指導主事

学校教育課入江でございます。単元によってポイントを全員で音読することもあれば、もちろんそればかりではありません。授業で何を学ばせたいかによって手法は様々変わってくると思います。

西森委員

なぜそんなことを思ったかといいますと、教育出版は問答形式の表記のところもあるんですが、割と平たい文章が中心なのかと感じます。日本文教出版は、問答形式の表記のところはかなり多いのですが、これは授業の上ではどのような使い方をされるのかと思って、読み合わせであれば平たい文章でしたらいいと思うんです。問答形式の表記のところを読み合わせするのは違和感がありますし、黙読で頭に入れるかと考えても、社会の教科書は、黙読で頭に入れるような性質でもないですよ。そういう意味では、問答形式が多用されている主旨というか、使い方によっては授業上のメリットはあるんですか。

入江学校教育課指導主事

学校教育課入江でございます。社会という教科に馴染んでいない3、4年生に対して、文章だけでなく問答形式による語り口調によって、入りやすく子どもに知識として入りやすいように語りかける意図があるのではないかと思います。ただ、授業で国語のように掛け合いのようにには使わないように考えます。

西森委員

私が子どもの時には、教科書にこのような台詞のような記載はなかったものでびっくりしました。

学校教育課長

社会科の授業は谷委員長さんが詳しいかと思いますが、いろんな授業の中で、教科書の本文に書かれていることを読み合わせるというよりも、例えば6年生の東京書籍で10、11ページを開いていただいたら、「縄文と弥生時代のくらしの様子を見てみよう」という開くようなページがあると思うんですけど、子どもたちをこういう掲示物で掲示して気がつくところを意見として出させて縄文と弥生時代のくらしの違いをみつけさせて学習した後に本文で確かめていくように、社会科は資料を効果的に使って学習のねらいに迫っていくという進め方をしていくのではないかと思います。ただ、学年によって違いますので、例えば3、4年生での校区探検であれば、東京書籍や教育出版の方には学習の進め方というところで、つかむ・調べる・まとめる・いかすというようなところがあるように、疑問に思ったところから、校区探検に行って調べてくるとか、そういう学習になっていくのではないかと思います。ですから、書かれていることを読み合わせるというよりも、学習したことによってそれを確立するとか、書かれていることから調べてみて、子どもが気がついたことを子どもたちの発表についての協議の中に活かしていくという授業の進め方がされていくと思います。

谷委員長

自由民権運動は、土佐から生まれた重要な思想というか高知の子どもたちにとって学ばせたい重要なものだと思うんですが、それを3社見てみますと、東京書籍も扱いはあるんですが、やはり自由民権運動そのものをきっちり書いているのは教育出版かと思います。初めて見たんですが、100ページですが、演説会の様子を吹き出しで書こうとしている。吹き出しで台詞を想像して書いてみようとなりますが、今、学校教育課長さんがおっしゃったように社会科は資料が非常に重要なので、資料からいろんなことを考えていく一つの突破口になるのではということ、また101ページを見ると楠瀬喜多が取り扱われているんです。やはり、高知で女性として参政権を求めた楠瀬喜多に興味を持って、それを通して発展的な研究を子どもたちが探求していくというふうな感じを持ちました。それと私とも

う一ついいと思ったのは、教育出版のピンクの付箋のところの自動車作りですが、これはどこも取り上げているんですけど、自動車作りの学習の中で、教育出版の123ページに部品が届かなくなるという表記があるんですけど、東日本大震災によって部品が届かなくなるということによって非常に流通面でも支障が生じたと書いてあるんですけど、防災学習って、総合的な学習もそうですし、いろんな教科でやるべきものですが、社会科は、社会科らしい防災学習が必要になってくる。そういう意味で、取り上げ方が社会科の目標に照らされているというふうに思いました。

その他にはありませんか。

委員一同

【なし】

谷委員長

そしたら、社会については、教育出版の評価が高いと思われませんが、教育出版で決定してよろしいでしょうか。

委員一同

【はい】

谷委員長

それでは、社会は教育出版に決定いたしました。

次に、地図をお願いします。

入江学校教育課指導主事

続いて、地図です。地図は、東京書籍、帝国書院の2社のみとなっております。そして、この2社ともが選定されております。また、この地図は1冊のみで、児童はこの教科書を3年間使用いたします。

まず、青色の付箋がついたページをお開きください。両社とも「中国地方」についてでございます。23ページとなっております。まずは帝国書院をお開きください。歴史学習にも使用できるように、右下「広島市の様子」の拡大図や、地図記号の表記の色を変える等の工夫がなされていたり、すべての漢字にルビが振られている等の工夫がなされています。そして、東京書籍は、基本図・拡大図・縮尺の解説や凡例、段彩等、児童に分かりやすく、見やすく示されております。特に縮尺は定規があるかと思えます。児童にとって分かりやすい縮尺になっているかと思えます。そして、地図記号の表記は、数も豊富で、絵記号なども工夫されており、要所にキャラクターによる児童の興味関心を高める吹き出し等も工夫されています。

続きまして、緑色の付箋のページをお開きください。今日的課題であります「災害・防災」についてでございます。東京書籍は89ページをご覧くださいますと本市が抱える災害、南海トラフ沖地震や台風について、分かりやすい資料が掲載されています。また、帝国書院の82ページでも同じく、防災について児童が考える資料が多く掲載されています。以上が、地図についての説明でございます。

谷委員長

それでは、ご意見等お願いいたします。

松原教育長

この東京書籍の地図は意欲的ですね。とにかくいろんな形で工夫して、すべて創意工夫の後がみられるような感じがします。すべての名前にふりがなが振られている。これはなかなか力が入っている感じがします。これだけでも力が入っている感じがするね。

西森委員

先程、ご指摘がなかったんですけども、帝国書院の方の51ページの方の真ん中ぐらいに「[あ、い、う]は、何という大陸だろう、地球儀で調べてみよう。」という表記がありますが、そっけない印象を受け、地図としては問題ないのしょうけども、どうなのかと思いました。それに比べ東京書籍にはじっくり見ていたいと思うような面白い問かけがあると感じました。面白かったと思うところは、青い付箋のところですが、右斜め上に「中国地方を東西に走る高速道路を指でたどって、どんな都市

を通っているか確かめてみよう。」とあって、やりたくなるというか面白いですよ。この地図で子どもさんが自主学習で遊びながら楽しく学べるというすごくいい工夫をされた地図帳ではないかと思いました。

松原教育長

大きさもいいよね。見やすい。

谷委員長

他の教科書と同じぐらいで、整理しやすいですよ。

圧倒的ですね。いいですか東京書籍で。

委員一同

————— 【は い】 —————

谷委員長

それでは、地図については東京書籍に決定いたします。

次に、算数をお願いします。

入江学校教育課指導主事

学校教育課入江でございます。続いて、算数です。算数は、6社のうち、東京書籍、学校図書、教育出版の3社が選定されております。

青色の付箋がついたページをお開きください。「長さ」についてでございます。各社とも2年下となっています。まずは学校図書、そして教育出版をご覧ください。単元の導入で用いられる一般的な写真提示となっています。そして、東京書籍をご覧くださいますと、単元の導入において、左側64ページのように、写真を効果的に用いて児童の意欲を高め、活動内容をイメージ化しやすいように工夫がなされています。

続きまして、緑色の付箋のページをお開きください。「並べ方と組み合わせ方」についてでございます。教育出版の6年145ページをご覧くださいますと、落ち着いたタッチのイラストを用いて、学習に集中できるように配慮がなされています。次に学校図書85ページをご覧くださいますと、とても親しみやすいイラストを使用し、内容の理解を助け、そして解決の道具となるように工夫されています。そして、東京書籍でございますが、子どもが主体的に学習に取り組める題材が設定されています。他社の2社とは違った題材が設定されています。そして、児童が気付き・発見した見方・考え方を取り上げ、説明する場を設けるといった児童の思考力を高めるような構成となっています。以上が、算数についての説明でございます。

谷委員長

ご意見等お願いいたします。

山本委員

算数なんですけども、1年生から6年生まで順番に足し算、引き算とか割り算、分数までいくんですかね。つまりくというところがそれぞれの学年であると思うんですが、その時に子どもたちが見て分かりやすく表現されているというか、家庭学習とかで使いやすいのは3社の中でどれが一番いいんですか。

入江学校教育課指導主事

学校教育課入江でございます。各社とも巻末あたりに各学年のまとめを記載しています。特に東京書籍をご覧くださいますと巻末に算数自主コーナーというのを設けていまして、補充問題、発展的なチャレンジ問題というのを構えています。特に補充問題を見ていただきますと、補充問題の中にも授業で学習したものと似ている問題を少し発展させた難しい問題を織り交ぜて、補充の中に少し強弱をつけて自分の振り返りができるようにしていて、特に今高知市が力を入れております自学自習についても向いているのではないかと考えております。

松原教育長

それに関して、平成25年度の全国学力学習状況調査で、高知市で一番正答率が低かったところと

というのはどこですか。

入江学校教育課指導主事

やはり図形関係です。

松原教育長

図形関係でなかなか正答率が低いということを前提として考えて教科書を見た時に、子どもたちに一番いい教科書というか適当な教科書というのはどれになると思いますか。

入江学校教育課指導主事

学校教育課入江でございます。それぞれ図形感覚を養う補足資料等は各社とも工夫はされていますが、教科書の授業の流れのスタイルとして、主に学習がなかなか身につけにくいお子さんでも身につけられるような授業の流れと話し合いを工夫されているのは、東京書籍かと思います。つまり、東京書籍の工夫が、図形認識が苦手なお子さんでも習得しやすいものではないかと考えます。

松原教育長

具体的には。

入江学校教育課指導主事

具体的なページでお伝えしますと、4年生下の東京書籍の12ページから14ページまでをお願いします。まず面積のところですが、広さというものについて物を使って体験的に学習する工夫導入がありまして、その後にはマス目を使って、実際に自分で面積の感覚を養っていく。その途中でも折々において、何について学習を進めているかというまとめをポイントで示している。そして話し合いの方につなげている。こういった流れが、特に特徴的で高知市の子どもにとって有意義ではないかと考えます。

谷委員長

今の言ってくださったものに関連してですけど、算数では子どもたちに考えさせることができるような課題が必要です。青い付箋のところを見てみますと、長さという単元で学習があるんですが、3社とも同じように2人の子どもが手を広げた長さを求めるというようになっていますが、子どもが学習する課題が同じようにできていますが、これを見てみたら教育出版の場合は、「この長さの表し方を考えましょう」となっています。このような聞き方は難しい。意欲的に学ぶ表記ではない。学校図書を見てみますと、「30センチメートルの物差しで3回と、あと25センチメートルありました。両手を広げた長さは何センチメートルでしょうか。」となっていて丁寧すぎる。東京書籍を見てみますと、「30センチメートルの物差しでちょうど4つ分でした。両手を広げた長さは何センチメートルですか。」こういう本当に微妙な問いかけの違いというのが子どもの思考を深める内容です。そういった意味で丁寧すぎてもいけないし、難しくて意欲的でない課題の出し方でもいけない。そしてやはり、いくつ分という発想は低学年から持っているもので、それを元に子どもが考えようとしている。

学校図書には、そのページの下に100センチメートルは、1メートルと書いているが、これも適切ではない。やはり、まずこれで考えることによって、初めて100センチメートルを1メートルと言うんだというところにたどりついていけないといけないわけで、この記載は次のページで良いと思うし、そのようなことから考えると同じ題材でも、その他の単元も同じだと思うんです。そういう傾向があるので、考えさせるというところでは、東京書籍かと思います。

西森委員

委員長さんが指摘された東京書籍の65ページなんですけど、上の方に昔はこの長さを「尋」と言ったというまめ知識もくっついているんですね。東京書籍は、読んでみると割と面白いというか、日常生活と結びつけて考える工夫がされている感じがします。それから、東京書籍の6年生の121ページですが、震災の経験を生かそうということで、社会に出てくるような統計資料を算数的に読み解くというか、そういった課題がされていますよね。これも意味があるんだろうと。算数が小学生のうちには、ややもすると、計算の訓練の場になってしまうという感じがするんですけども、日常生活と

数学につなげていく努力が見えるという感じがして、とても面白い教科書ではないかと感じました。

松原教育長

私もすごく思います。例えば、東京書籍の4年生の下ですが、生活と算数的な考え方はすべてが結びついているので、単元の初めで、生活と算数的な考え方について子どもたちの興味、関心を高めるという工夫があるので、いいと思いますよ。

谷委員長

いいと思いますね。かなり東京書籍が良いという意見がありますが、算数は東京書籍でよろしいですか。

委員一同

————— 【は い】 —————

谷委員長

それでは、算数は東京書籍に決定いたしました。

続いて、理科について説明をお願いします。

入江学校教育課指導主事

続いて、理科です。理科は、5社のうち、東京書籍、大日本図書、教育出版の3社が選定されております。

青色の付箋がついたページをお開きください。「モンシロチョウの育ち方」についてでございます。東京書籍と大日本図書は3年22ページ、教育出版は3年36ページでございます。3社とも見比べていただきますと、拡大した実物大の写真や挿絵等、児童の興味を引く工夫がなされています。さらに、大日本図書をご覧くださいと、生き物の成長過程や変化の様子が分かりやすく、アーチ状の形で連続写真や挿絵が効果的に配置されているといった児童が興味関心を持つような工夫がなされています。

続きまして、緑色の付箋のページをお開きください。「植物と日光とのかかわり」についてでございます。東京書籍は6年53ページ、大日本図書は6年61ページ、教育出版は6年52ページでございます。教育出版をご覧くださいと、問題から結論を導き出すといった学習の流れをアニメのキャラクターやイラストを用いて示しています。次に東京書籍をご覧ください。児童自らが見通しを持って、実験や観察を行い、まとめるために、問題解決の各過程のタイトルを大きな文字で示し、まとまりの枠組みを見やすくしています。そして、大日本図書は、「予想しよう」「観察・実験」「考えよう」「わかったこと」など、児童が主体的に学習できる工夫がなされています。さらに、65ページを見ていただきますと「たしかめよう」「学んだことを生かそう」では、単なる知識の再現ではなく、思考力や表現力を養う構成となっております。以上が、理科についての説明でございます。

谷委員長

ご意見等をお願いします。

西森委員

東京書籍は、写真が大きいですね。インパクトがある印象が強くて、緑の付箋のところですが、根とか茎とかに色が染みていく様子とかは、目を近づけたら見えそうなくらいで、先程の書写のところ、筆に力があり、こだわっていると申し上げたのですが、この理科の教科書でも、東京書籍の5年生の168ページの赤ちゃんの絵とかは、実物大より大きく、大変な迫力がありますね。東京書籍の5年生は、視覚的に言いまして、子どもさんに残る印象がすごく強いものがあるだろうという感じがいたしました。53ページでも、へちまの写真があって、へちまが大きくなりましたという感じで、生物というか生命に対する感動を与えるような教科書だと思います。やはり理科はある程度、写真とかイラストが多い方がいいですよ。東京書籍は、割とイラストを使わずに写真中心な感じがしますが、

松原教育長

写真でいうなら東京書籍がすごくきれいだけど、大日本図書は、つや消しでやっているのか感じが

すごく柔らかいように感じるんですけど。光ってないというか。大日本図書の写真は、卵から幼虫になるまでは、すべて原寸大でやっているのか。

入江学校教育課指導主事

学校教育課入江ですけども、卵は原寸大ではございません。ただ、卵の下に小さく枠で囲った幼虫の部分は原寸大になっています。

土居教育次長

21 ページの右下のところに卵を点で示していますが、それが 23 ページにいくと幼虫は原寸大で示しています。26 ページにも蚕の卵の大きさを示した上で写真を載せています。

野並委員

6 年生の体のしくみのところを見てみますと、教育出版とか東京書籍は、非常にリアルで、ここまですなくてもという感じがします。呼吸の働きとかもかなり精巧に記載されていて。それに対し、大日本図書は呼吸のしくみとかは、子どもの視点で取り上げているように感じます。興味を持っていただくという意味では、体のしくみについては、大日本図書が良いように思いました。

谷委員長

興味を持つという視点ですね。

西森委員

大日本図書の 48 ページの絵とかは、よく分かるようにリアルに書いていますが、多分好き嫌いが分かれると思います。

松原教育長

体のしくみは、原寸大にはしなくてもいいのではという気がしますけども。

谷委員長

教育出版はどうでしょうかね。

西森委員

よく分かり過ぎるような気がします。

谷委員長

おっしゃるとおりだと思います。

西森委員

これは、全部、文部科学省の学習指導要領に則った上で、あとは各社の考え方によって濃淡があるわけですか。

入江学校教育課指導主事

おっしゃるとおりでございます。

西森委員

室戸のジオパーク等がとりあげられているところがありますか。

入江学校教育課指導主事

6 年生に地層がありますが、大日本図書ですと 112 ページからになります。

谷委員長

大日本図書に、室戸が取り上げられているところがあるね。

西森委員

123 ページに土佐清水も取り上げられていますね。

松原教育長

大日本図書ですかね。

山本委員

わかりやすいですよ。

谷委員長

今、皆さんの意見を集約したら大日本図書が一番望ましいのではないかという感じですが、よろし

いですか。

委員一同

【は い】

谷委員長

それでは、理科は大日本図書に決定いたしました。

次に、生活をお願いいたします。

入江学校教育課指導主事

続いて、生活です。生活は、7社のうち、東京書籍、大日本図書、教育出版の3社が選定されています。

お手元にごございます教科書の青色の付箋がついたページをお開きください。各社とも「1年生の生活」についてでございます。まずは大日本図書をご覧ください。子どもたちの安心感と意欲を土台としながら、幼児期の教育から各教科等の学習への円滑な接続をめざす「スタートカリキュラム」が児童にとって楽しい活動として写真などで示されています。そして東京書籍と教育出版をご覧くださいますと、それぞれ、ページをめくるとに、スタートカリキュラムに対応した内容が、いきいきと活動する写真や吹き出しで効果的に示されています。

続きまして、緑色の付箋のページをお開きください。「おもちゃ図かん」についてでございます。東京書籍は下の54ページ、大日本図書は下の86ページ、教育出版は下の76ページでございます。大日本図書をご覧くださいますと、様々なおもちゃが楽しく紹介されているのがお分かりになるかと思えます。次に東京書籍と教育出版をご覧ください。おもちゃについての説明が、丁寧で分かりやすく、また実際に活動している児童の写真等が掲示されていて、児童の興味を高める工夫がなされています。以上が、生活についての説明でございます。

谷委員長

それでは、ご意見等お願いします。

松原教育長

東京書籍はやはり写真がきれいやね。本当にきれいだと思う。

谷委員長

鮮明ですね。

松原教育長

スタートカリキュラムの写真なんかも抜群ですね。

谷委員長

「どきどきわくわく一年生」の保護者の皆様へと書いているのは、各社とも書いているんですか。東京書籍の『あたらしいせいかつ』の上の1ページ目です。

入江学校教育課指導主事

他社は、なかったと思います。

谷委員長

一年生のスタートだから、保護者との繋がりも非常に重要で。教科書にこういうのを書いているのは、初めて見ました。

松原教育長

すべての教科書が工夫しているのは確かやね。

西森委員

対象は、一年生ですよ。最近、生活の教科書は学校に置きっ放しという扱いの学校もありますよね。学校での読書タイムでも、意外ですが、見ていると割と教科書を見ている人が多いような感じがあって、この東京書籍は、一年生の子が読むのに、絵だけでなく文字だけでなく、楽しく読めそうな内容だなという感じがしました。

山本委員

教育出版の45ページですが、種と発芽に関して、見る角度を変えたら見え方が違ってくるように工夫されていますね。

谷委員長

本当に見え方が変わりますね。

西森委員

子ども心をくすぐりますよね。

松原教育長

すぐに引きちぎったりしないだろうか。

谷委員長

子どもの発想からしたら剥がしたくなりますよね。いろいろ面白いことを考えますよね。

山本委員

種と発芽に関したら、東京書籍の28、29ページですけども、発芽したらどういった花になるのかというところを面白く分かりやすく工夫されていると感じます。

谷委員長

それぞれの会社が非常に工夫しているので、3社ともいいのではないかと思いますけども、写真等が鮮明で分かりやすいのは東京書籍ですか。

松原教育長

きれいでしょ。

谷委員長

子どもの顔の表情がいいですね。

山本委員

表紙がね。

松原教育長

中の写真も子どもの表情がいいでしょう。希望に満ちたような、小学校一年生が、学校が楽しくてしょうがないような、そういう表情。

西森委員

東京書籍はイラストもきれいですよね。色鉛筆タッチな感じのイラストですよ。

谷委員長

イラストも種類が違いますね。例えば、大日本図書と比べると東京書籍の方がソフトで見やすい。

松原教育長

やはり、子どもたちが初めて小学校に入った時に、スタートカリキュラムということで初めて習う教科で、その教科書が夢や希望がいっぱいの表現で、たくさんそれに触れることによってすごく学校そのものが楽しいものになっていくだろうと思うので、すごく教科書が大事な問題ですよ。

谷委員長

ずっと一年間見ていくものですね。

松原教育長

そういう面で、東京書籍のスタートブックは、なかなか内容そのものも素晴らしいということになるのではないかと思います。

谷委員長

というご意見ですけども、いかがですか。東京書籍でよろしいですか。

委員一同

————— 【は い】 —————

谷委員長

それでは、生活は東京書籍ということで決定いたします。

次に、音楽をお願いします。

入江学校教育課指導主事

続いて、音楽です。音楽は、教育出版、教育芸術社の2社のみが発行しており、この2社ともが選定されています。

では、まず青色の付箋がついたページをお開きください。「鍵盤ハーモニカの導入」についてでございます。教育出版は1年32ページ、教育芸術社は1年30ページでございます。まずは教育芸術社をご覧ください。可愛いイラストで分かりやすい説明がなされています。そして、教育出版をご覧ください。児童のイメージを喚起する実物大の写真を用いることにより、児童が主体的に学習に取り組めるといった工夫がなされています。また、授業者の立場でも、児童の指の練習において、効果的に指導できる工夫がなされているかと考えます。

続きまして、緑色の付箋のページをお開きください。教育出版は6年40ページ、教育芸術社は6年39ページでございます。「歌唱：ふるさと」です。教育芸術社をご覧ください。学習のめあてを左上に明示し、学習の見通しを明確に意識させるようにしています。そして、教育出版をご覧ください。同じく左上に「学習のねらい」を示し、また、それに準ずる下の部分になりますが、「活動のポイント」について、テントウムシでそれらを明示し、児童自ら学習内容を捉えながら活動できるような配慮がなされています。以上が、音楽についての説明でございます。

谷委員長

ご意見等をお願いします。

松原教育長

青の付箋の部分ですが、教育出版では、ピアノが原寸大になっているということは、鍵盤の練習ができるということですか。

入江学校教育課指導主事

委員さんのおっしゃる通りでございます。練習ができます。例えば朝の短い時間でも本物を取り出すには時間がかかると思うんですが、教科書一つを持ち出して指の練習ができるということになります。

松原教育長

そういうことよね。原寸大じゃないと小さすぎて指の練習にならない。それはだいぶ違うね。

谷委員長

教育芸術社は、ピアノの表示が小さいね。

松原教育長

そういう面では教育出版の方が子どもの立場になっているというか教える立場になっている感じはするよね。

西森委員

音楽は、文部科学省の学習指導要領でこういった音楽の種類をこの学年で教えましょうということで、個別の具体的な曲は、個別の教科書の発行者の判断ですか。6年生の曲について目次を見ると、取り上げられている曲が、それぞればらばらという感じですよ。

入江学校教育課指導主事

学習指導要領自体に曲自体は示されておらず、児童が捉える目標に対しての曲を各社選別して載せています。

西森委員

教育芸術社だと、まず日本の歌とういことで「夏は来ぬ」「浜千鳥」とあって、教育出版では滝廉太郎の歌になっています。あとは私が子どもの頃には載っていなかったようなおしゃれな曲がいっぱいあります。

谷委員長

教育芸術社は、47ページに「仰げば尊し」が載っていますね。

山本委員

国歌の「君が代」ですけれども、これは何年生から載せるというのはあるんですか。それぞれ一年生から載っていますか。

入江学校教育課指導主事

全学年のものに載っています。すべての教科書に国歌の方は、載せています。

山本委員

一年生からですか。

入江学校教育課指導主事

一年生にも同じようにあります。

山本委員

子どもたちが、例えば歌が下手だから音楽が嫌いだとか人前で歌うのが苦手だとか楽器演奏が不得意だとかは、一年生の時期からスタートするんじゃないかと思うんですが、そういう観点からいうとそのような部分をカバーできそうな教科書はどちらですか。

入江学校教育課指導主事

まず一年生の教科書をご覧くださいませでしょうか。目次を開いていただいて、まずキャラクター等が載っていて、子どもたちが入りやすいような仕掛けが両方ともなされているかと思います。続いて出てくるのが、例えば教育出版の方をご覧くださいませと童歌があるかと思います。こちらにつきましても主に一人でというか友達と体を動かしながらリズムに乗って音楽を楽しむような流れがあります。こういった流れからしますと委員さんのおっしゃったような一人ではなく皆で楽しめるのは教育出版ではないかと考えます。

谷委員長

「仰げば尊し」は教育出版にも出ていますね。「われは海の子」も両方に載っていますね。「われは海の子」の題材を教育出版は4ページ扱っているが、教育芸術社は2ページだけです。

松原教育長

例えば、国歌「君が代」について、教育芸術社と教育出版の違いというのは、教育芸術社はただ「君が代」の歌詞が書かれているだけだが、教育出版の場合はすべて解説が入っている。小学校一年生が歌詞を読んだだけでは、なかなか意味がわからないと思う。そういう面では教育出版の方が丁寧ではないかと思います。これ一つをとっても。

入江学校教育課指導主事

先程の内容で一点だけ訂正させていただいてもお構いないでしょうか。歌唱教材について、発行者がどれでも好きなもの選べるとお伝えさせていただいたんですが、選べる部分もあれば、共通教材として指定されているものもあります。訂正させてください。

谷委員長

音楽に興味をもつようになるという点でいくと教育出版の方が全体的にいいですね。

野並委員

郷土愛からいうと「浜千鳥」を入れておいて欲しいですね。作曲の弘田龍太郎は、高知の作曲家ですから。教育芸術社に入っていますが。

谷委員長

「浜千鳥」はいいですね。

野並委員

弘田龍太郎は、郷土出身の大作曲家ですから。

松原教育長

弘田龍太郎の歌は、他には入っていないかね。ありそうな気がするが。

野並委員

教育出版には、桂浜の写真が載っていますから。

谷委員長

教育芸術社と教育出版のどちらにも郷土関係のものがありますね。教育出版の6年生に「われは海の子」の桂浜の写真が載っています。

野並委員

地元の子どもたちからすれば、地元のものが載っているということは非常に誇らしく思いますから。

谷委員長

子どもたちが興味を持ちそうなという点で、全体的にみて教育出版ということでもよろしいですか。

委員一同

————— 【は い】 —————

谷委員長

それでは、音楽は教育出版ということで決定いたします。

次に、図画工作をお願いします。

入江学校教育課指導主事

続いて、図画工作です。図画工作は、開隆堂出版、日本文教出版の2社のみが発行しており、この2社ともが選定されております。

青色の付箋がついたページをお開きください。開隆堂出版は1・2年下12ページ、日本文教出版は1・2年上12ページでございます。両社とも「造形遊び」についてでございます。まずは開隆堂出版の左側12ページをご覧ください。学習の最後に、自分の学習がどうであったかふりかえりをするコーナーを設けています。そして、日本文教出版をご覧くださいますと、まず題材ごとに学習のめあてが大きく位置付けられており、さらに、気をつけること、片付け等、学びの過程が示されています。これにより、児童が主体的に学習を進められるようになっていきます。

次に、オレンジ色の付箋のページをお開きください。「粘土」についてでございます。開隆堂出版は3・4年上16ページ、日本文教出版は3・4年下12ページでございます。開隆堂出版をご覧くださいますと、今までに培った造形表現能力や態度・関心が段階的に発展するように配慮されています。そして、日本文教出版をご覧くださいますと、発達段階を考慮した学習のめあてが設定できるように工夫されていて、技術的に簡単な技法から少し高度なものまで学習でき、場所の広がりや道具の使用など、2学年を見通して活動できる内容が盛り込まれております。以上が、図画工作についての説明でございます。

谷委員長

では、ご意見等お願いします。

西森委員

現場でご指導にあられる先生のご意見をお聞きしたいと思うんですけど、オレンジの付箋で説明いただいたところですが、開隆堂出版は難解ではないですか。私の理解では抽象的すぎるんです。日本文教出版で取り上げられている分は理解可能で具体的な感じがするんですが、開隆堂出版は例えば16ページもそうですが、全体的に難解というか抽象的な表現が結構取り上げられているイメージがあるんですが、子どもさんたちはこれで結構大丈夫なんじゃないでしょうか。

野並委員

ですから、謎の展望台とか不思議な花が咲くとかいう表現があるのでは。抽象的なんです。

西森委員

抽象的なんですよ。

谷委員長

抽象的なんですよ。

西森委員

発達段階の例えば幼稚園の子どもとかは、満足そうにこれができたと言って、さっぱりわからないというのはありますけど、3、4年生でこのページを開いてこういうのをやりましようと言われた時

に、分かりましたとなるのか分からないという感じになるのか、その辺りはどうでしょうか。

入江学校教育課指導主事

はい、特に今回、開隆堂出版の粘土のところは、「握って捻って」というのが主な狙いで、このような形になっているのかと思います。それに対して、日本文教出版は「立ち上がれ」というようなことで高さを求めるのが狙いなので、ただおっしゃるように開隆堂出版は抽象的なところは非常に多く見受けられます。「立ち上がれ」でも抽象的にはいくらでもできようかとは思いますが、ある程度の形、技法が入っているかとは思いますが。

谷委員長

観賞のページですね、図画工作で自分が作ったり描いたりというのも大事ですけど、観賞も、ものすごく大事だとは思いますが、どこにありますか。日本文教出版だったら 46, 47 ページにあるんですよ。それも非常に素晴らしい絵画を挙げてやっているんですけども。開隆堂出版では、観賞のページはどこにありますか。

入江学校教育課指導主事

開隆堂出版でいきますと、目次に観賞の観という文字があるページになります。

土居教育次長

2 ページから 4 ページまでとか、16, 17 ページとか 42, 43 ページとかです。

谷委員長

よく分からないですね。観賞の捉え方がちょっと違うような感じですね。図画工作の中では、日本文教出版 5・6 年上の 46, 47 ページのような 2 ページは絶対欲しいと思います。

他にありませんか。

山本委員

工作の時に使う道具の説明や取扱いの注意がすごく分かりやすく表示されているのが日本文教出版の方かと思います。ラジオペンチやのこぎりの説明も分かりやすいのではないかと思います。

谷委員長

日本文教出版の評価が高いように思いますが、日本文教出版で決定してよろしいですか。

委員一同

————— 【は い】 —————

谷委員長

それでは、図画工作は日本文教出版に決定いたしました。

次に、家庭についてご説明をお願いいたします。

入江学校教育課指導主事

続いて、家庭です。家庭は、東京書籍、開隆堂出版の 2 社のみが発行しています。この 2 社ともが選定されております。家庭はこの 1 冊のみで、児童はこの教科書を 2 年間使用いたします。

青色の付箋がついたページをお開きください。「ゆでる調理」についてでございます。東京書籍は 14 ページ、開隆堂出版は 12 ページでございます。まず、東京書籍についてですが、調理手順などがイラストを元に丁寧に示されています。また、15 ページの上をご覧くださいますと、「いつも確かめよう」の欄では、基礎的・基本的な知識や技能の大切なポイントをまとめて提示しております。次に、開隆堂出版をご覧ください。野菜の切り方やゆで方の例が分かりやすく写真で多く掲載されていて、実際の調理実習に生かしやすくなっております。また、実習・作製の手順は、読み手の視線の流れを考慮して、横に流れるように統一するといったユニバーサルデザインへの配慮もなされています。

次に、オレンジ色の付箋のページをお開きください。「いためる調理」についてでございます。東京書籍は 66 ページ、開隆堂出版は 69 ページでございます。東京書籍をご覧くださいますとステップごとに左上に「学習のめあて」とそれに対応する右下に「ふり返り」を設定し、児童が目的意識を持って学習に取り組める構成となっています。次に、開隆堂出版をご覧くださいますと単元ごとに「学習のめあて」を示し、そのまとめとして 73 ページをご覧くださいますと、「できたかな」というもの

が設けられていて、また自己評価や実践化の手がかりとなる「ふり返ろう」「生かそう」を設けて、児童が自発的に学べるような構成となっています。以上が、家庭についての説明でございます。

谷委員長

では、ご意見等お願いします。

西森委員

今ご説明いただいた部分で言うと、開隆堂出版の教科書がいいと思ったところがあります。前に聞いた話で男子学生などが自立した時に一番役に立ったのが家庭科だと話をしていたということを知ったことがあって、一人暮らしになった時に朝ごはんをだんだん食べなくなったりするんですけど、開隆堂出版の70ページは、これがあれば一週間メニューを回せますし、ちょっとした工夫でこれだけメニューにバリエーションを持たせることができることが分かって、残念ながらこちらの東京書籍は、調理のいろんな教科書的なことは書かれているけども、このページだけ見れば実践的ではない感じがします。日常生活に生かせるという意味で、将来につなげる学習という意味では、このページだけみても開隆堂出版がいいのではないかと思います。

谷委員長

東京書籍は、絵が多すぎですね。

松原教育長

青い付箋の開隆堂出版の12、13ページは、横に目を流すということはユニバーサルデザインへの配慮ということになるのか。

入江学校教育課指導主事

おっしゃるとおりでございます。

松原教育長

縦の場合もユニバーサルデザインへの配慮ということになるのか。

入江学校教育課指導主事

統一性があればユニバーサルデザインへの配慮ということになります。

松原教育長

その辺りも含めて、これは断然、開隆堂出版ではないですか。

谷委員長

開隆堂出版の評価が高いようですので、開隆堂出版でよろしいですか。

委員一同

————— 【は い】 —————

谷委員長

それでは、家庭は開隆堂出版に決定いたしました。

次に、保健のご説明をお願いいたします。

入江学校教育課指導主事

続いて、保健です。保健は、5社のうち、東京書籍、文教社、学研教育みらいの3社が選定されております。

お手元の教科書の青色の付箋がついたページをお開きください。「1日の生活」についてでございます。3社とも3・4年の6ページでございます。まずは東京書籍をご覧くださいと、各項目の冒頭にその授業の学習課題を明示し、学習の流れと活動内容がひと目でわかるようになっています。次に、学研教育みらいをご覧ください。統一感のある紙面構成で、分かりやすい記号などにより、全体の流れを見通すことができます。そして文教社をご覧ください。導入に、学習内容をイメージしやすいイラスト付きのチェック項目を設けていることが多く、児童の学習への意欲付けと、一人ひとりが、主体性を持って学習に臨めるような工夫がなされています。

次に、オレンジ色の付箋のページをお開きください。「けがの手当」についてでございます。東京書籍は5・6年24ページ、文教社は5・6年21ページ、学研教育みらいは5・6年26ページでござい

ます。東京書籍をご覧くださいますと処置の手順等、分かりやすく説明されています。また、発展的に、「AED」や「熱中症」についての内容も触れています。次に学研教育みらいと文教社をご覧くださいますと東京書籍と比べ、処置の手順が明確であり、分かりやすく説明されています。加えて、文教社の23ページをご覧くださいますと、最近テレビでの報道でよく耳にいたします「熱中症」について発展的ではございますが、その説明や対策などがとても充実しているのが見ておわかりになるかと思います。以上が、保健についての説明でございました。

谷委員長

では、ご意見等お願いします。

松原教育長

保健というのは、教科の特色として健康の保持増進というか、そういう事が大事ではないかという感じがするんですけども、そういう事を考えた時に自分自身が今どうなのかということをチェック項目でチェックすることによって、自分の健康という問題についてしっかり把握するということが大事な問題ではないかと思います。そういう事を考えた時に、文教社は単元の一つ初めにチェック項目を入れている。自分の健康に関する考え方とか実践がどうなのかということをチェック項目に入れることによって把握することから始まっていくという事はすごく大事なことではないかというふうに思います。学研教育みらいもチェック項目があることはあるね。

谷委員長

東京書籍は、色の感じでしょうか、全体的に落ちついて見れない感じがしますね。

ちょっと聞きたいですが、防災について書いてあるのは3社ともですか。

入江学校教育課指導主事

そうです。

谷委員長

扱い方の差というのはありますか。

入江学校教育課指導主事

文書量と内容の充実さには差があります。特に多く取り上げているのが、文教社です。学研教育みらいの方も取り上げが大きいかと思います。補足でございますが、文教社ですと44ページをご覧くださいますと発展学習として東日本大震災を教訓に保健で学んだことを通して、自然災害への備えや自分たちにもできる事を考える構成が組まれています。そして、学研教育みらいでございまして、こちらは5・6年の24ページになります。こちらの発展学習として、自然災害に対する防災意識を高める構成となっています。東京書籍ですと5・6年の22ページあたりになります。自然災害によるけがの防止ということで取扱いがされています。やはり量につきましては、文教社が多く、学研教育みらいが次に多いと考えております。

谷委員長

防災は取り上げておきたいので、文教社か学研教育みらいのどちらかでしょうね。

西森委員

薬物乱用に関する記述ですが、文教社の41ページとそれから学研教育みらいの46ページですけど、言わんとすることは両方とも同じような情報が盛り込まれていると思うのですが、実際に私自身の仕事で関わっていく中で感じることは、最初の子どもたちへの教育がものすごく大事になってくると考えます。やっていい事とやってはいけない事の平和な記述だと、襲ってくる誘惑の方がよっぽど強いという社会環境にあって、一回手を出したらもう終わり、その後適切な治療というのが確立はされていないという状態で、人生が全部狂うんですよ。そういう意味で言った時に、薬物に対する個人的な思いからでしょうけど学研教育みらいは、教科書的というか言葉で説得しようとしている感じがします。そういう意味では、文教社の41ページから42ページまでは、やはりビジュアル的に訴えてくる感じがします。これは、学研教育みらいと文教社を比較した時に全般的に言えることかもしれないですが。薬物とかのこういった問題に関しては、圧倒的にビジュアルで嫌悪感を強く持ってもら

うことからスタートして欲しいと思いますので、そういう意味では、文教社の方がいいと思います。

谷委員長

文教社の41ページから42ページまでは、すごく分かりやすく、インパクトもあるし、まとまっていますね。

西森委員

入っている情報は、文教社も学研教育みらいも一緒ですが。

谷委員長

文教社はすごくいいと思います。

西森委員

42ページでは、薬物の別の呼び名にも注意とあって、正面から切り込んで記載している感じがします。

松原教育長

私もそう思います。

西森委員

喫煙の害なんかについても文教社の方がイラストで見せている。それから副流煙の危険性についてイラストで示しているとか、全体にイラストの説明がよくできていますね。

谷委員長

全体的に、文教社の方でということですが、よろしいですか。

委員一同

————— 【は い】 —————

谷委員長

それでは、保健は文教社に決定いたしました。

以上で、一通り採択が終わりましたので、最後に確認をさせていただきます。国語は東京書籍、書写は東京書籍、社会は教育出版、地図は東京書籍、算数は東京書籍、理科は大日本図書、生活は東京書籍、音楽は教育出版、図画工作は日本文教出版、家庭は開隆堂出版、保健は文教社です。以上で間違いないでしょうか。

それでは、この内容で決定をいたしましたので、よろしくお願いたします。

以上で、本日の議事日程はすべて終了いたしました。これで教育委員会を閉会いたします。

閉会 午後5時50分

署 名

委員 長

4番委員
